

1. 各機能ごとの運営ルール

	【発表系】 大ホール・小ホール・大スタジオ	【練習系】 大スタジオ・中スタジオ・小スタジオ ワークショップルーム	【展示系】 ギャラリー・大スタジオ	【その他・施設全体】 創造スタッフ室 ロビー・アート広場
申 込 時 期	[平成 24 年度市民ワークショップ意見] 12ヶ月前で良いと思う / 大ホール 12ヶ月前。小ホール 6ヶ月前。創造系 4ヶ月前 / 展示は 14ヶ月前 (国際的な大規模な催しは 24ヶ月前) / 申込は 1年前だが会館が空いていたら受付けてくれるのか / 早い者勝ちにならぬ工夫も必要だと思う			
申 込 方 法	[平成 24 年度市民ワークショップ意見] 直接申込書に記入して申込む / 基本的に会場のオフィス窓口へ (営業時間内に) 来て申込みをする (→抽選で決定する) / インターネット申請も出来るようにする / 利用可能日、時間をネット上で把握でき利用申込に関する処理をその時にできないか / ネットでは開き情報開示、申込みは窓口で / 電話・ネット・直接全てあり。本契約は直接で窓口はせめて 19:00 まで / 利用申込みは現在の「公共施設予約」システムを利用できるようにする / 相談のみで受付できる体制 (簡単な文書) / 申請 (先行予約): 優先利用は抽選時に公表する / 申請: 抽選がよいが、今の抽選方法 (コンピュータや時期) を見直すべき / 抽選: 優先利用者の基準を明確に			
他室との連携利用 (リハーサル、控室、第 2 展示室として使う)	[平成 24 年度市民ワークショップ意見] 本番を含めりハや仕込み連続でおさえられる。3日? (本番込み) / 大ホールをおさえたら練習室もおさえられる			
利用時間の区分	[平成 24 年度市民ワークショップ意見] 午前、午後、夜間、1日。土、日、休日→利用が多いため割引が欲しい / 1区分-午前、午後、夜間の区分と時間貸しと両方ある			
連続日数使用	[平成 24 年度市民ワークショップ意見] 展示系は連続利用規制なし			
そ の 他	[平成 24 年度市民ワークショップ意見] キャンセルは何日前まで可能か / 一般市民の利用を広げる為にも、ランク別セット料金を設定する。Aセット、Bセット等居酒屋システム 1品追加あり / 連続使用したら料金がちょっと安くなる / 使用に関するメリット。2月、8月は安くする。水曜は安くする。お試し価格=初めて使う団体は割引有り。終日使用、日数多いと割引あり。etc のサービスを考える / 付属機器の料金を明確に示す (表を掲示) / 申請受付時の駐車スペースの確保。出演者と来場者の駐車スペースの区分 / ホールを借りる際にこうしたらもっと良くなる等アイデアがもらえるように / 基本的な運営の考え方: 原則のルールは出来るだけ具体的に決める。その例外運用については委員会を設けて審議 (自由裁量が多すぎると混乱する)			

2. 施設全体の運営ルール

休 館 日	開 館 時 間	利 用 者 登 録
[平成 24 年度市民ワークショップ意見] 定期休館日なくして利用日を増やす 休館日は年末年始 12/29~1/3+臨時休館	[平成 24 年度市民ワークショップ意見] 朝 8 時~夜 10 時 、 9:00~21:00 9:00~21:30 、 9:00~22:00 (延長あり) 1h 朝と夜 1 時間位延長。/ 楽屋のみの延長も認めて欲しい!! / 10 分前に開場。主催者入場したい / 受付開始~終了の時間を周知させる (例 8:00~20:00) / フレキシブルに対応 (劇場・ホールの特性をよく考えて) 創造センター機能を重視するならスタジオの利用時間には制限を設けない 開館時間を複数設定できる物理的ゾーニング 展示系についても 21 時~22 時など、公演系とあわせる	[平成 24 年度市民ワークショップ意見] 「友の会」向けサービス。特典。(先行予約・割引) ポイント制にしてそのポイントで優遇制度がある!! ポイントを貯める。内訳?